

居住地に関わらず市民が生活の質を維持し、安心して暮らすことができる社会を実現するため、デジタル技術やデータを積極的に活用した住民サービスの仕組みを構築する

テーマ5.熊本市郊外型スマートシティ

現状

- 本市郊外の地域(※)では、直近10年間の人口減少率が12%以上、2023年4月現在の高齢化率が40%以上と急速な人口減少と高齢化が進んでいる
※河内、芳野、奥古閑、中緑、川口、豊田、田底、吉松、山本、田原の各校区
- 今後、各地域において産業や公共サービスの維持が難しくなることが予想され、移動手段の確保、物流網の維持や買い物難民の防止、既存ストックの維持管理や遊休資産の活用、医療・介護・見守り、防災・防犯、地域コミュニティの維持などの課題が健在化することを想定される

目指す姿

- 市民が居住地に関わらず生活の質を維持し、安心して暮らすことができるまちを実現する



解決したい課題

デジタル技術やデータを積極的に活用し、郊外の地域の住民の生活の質を維持向上させたい
※分野横断的な取組や平時と緊急時で継ぎ目ない取組としたい

他都市事例

貨物運送事業者による貨客混載運送（移動手段確保×物流網の維持）

空き家を活用したAIスマートストア（遊休資産活用×山間部の買い物難民防止）

医療Maas（地域の利便性向上×医療従事者の負担軽減×災害時の医療）